

101 ギュウリキマイマイ

(オナジマイマイ科)

兵庫県ランク: 要注目

Euhadra eoa gulicki

環境省ランク: 指定なし

種の概要

近畿、徳島県、高知県に分布する。自然度の高い林床の落ち葉が厚く堆積した中や大きな岩石の間に生息する。殻長約20～30mm、殻径約35～50mmの大型で、殻色は暗褐色で光沢はない。昼間は這い出さず、夜間に行動する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○		△				○	

県内分布

神戸市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、三木市、篠山市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。兵庫県は本亜種の分布の西限域であり、また模式産地は神戸市北区有馬温泉である。淡路島以外では生息密度が低い亜種であり、近年本亜種の生息に適した自然度の高い広葉樹林の減少により、生息数の減少が見られる。淡路島では洲本市の狭い地域に殻径35～40mmの小型が生息する。生息地の1つである成ヶ島では生息数は比較的多いが、近年イノシシやシカが侵入し、植相変化や捕食が心配される。

保護上の留意点

自然度の高い広葉樹林の保護が必要と思われる。また模式産地である有馬温泉では大型で美しい個体が生息するため、一部愛好家による無意味な採集が行われ、生息数の著しい減少があり、何らかの保護処置が必要と思われる。成ヶ島においては、イノシシやシカの捕獲を早急に行う必要がある。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 大原健司